



中学地理



(12)

デジタル 資料集

シーエーアイ教育システム

促成栽培

促成栽培（そくせいさいばい）とは、**露地**での栽培（露地栽培）よりも生長・収穫・出荷を早くする栽培法。対義語は**抑制栽培**。

促成栽培を行うには、**ビニールハウス**や**温室**などを利用して保温あるいは加温する。出荷時期を早めることで、商品価値を高めることにつながる。たとえば夏野菜を**ハウス栽培**等により、春に収穫するなど。

成育期間中、石油ヒーターによる温風暖房などを利用して加温する場合には、余分な経費がかかることになるので生産コストに跳ね返るが、市場取引での出荷価格が高水準で維持される限り、露地栽培よりも多くの収益を上げることが可能である。また、温度や光線などの調節で、野菜・花卉の発育を促し、普通栽培よりも早く収穫する栽培法。農作物などを人工的に早く生長させる栽培。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BF%83%E6%88%90%E6%A0%BD%E5%9F%B9>

大陸棚

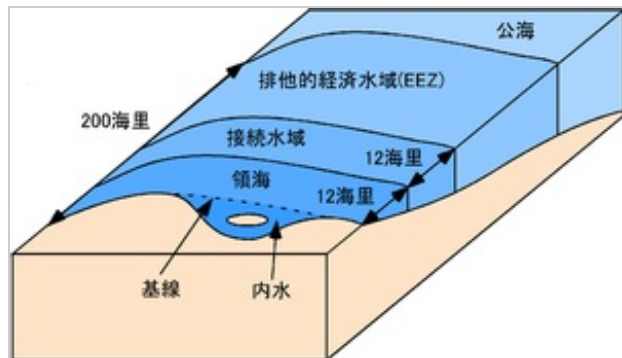
大陸棚（たいりくだな）とは、大陸の周縁に分布するきわめて緩傾斜の海底で、傾斜の変換点をその外縁とする平らな棚状の地形をいう。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%99%B8%E6%A3%9A>

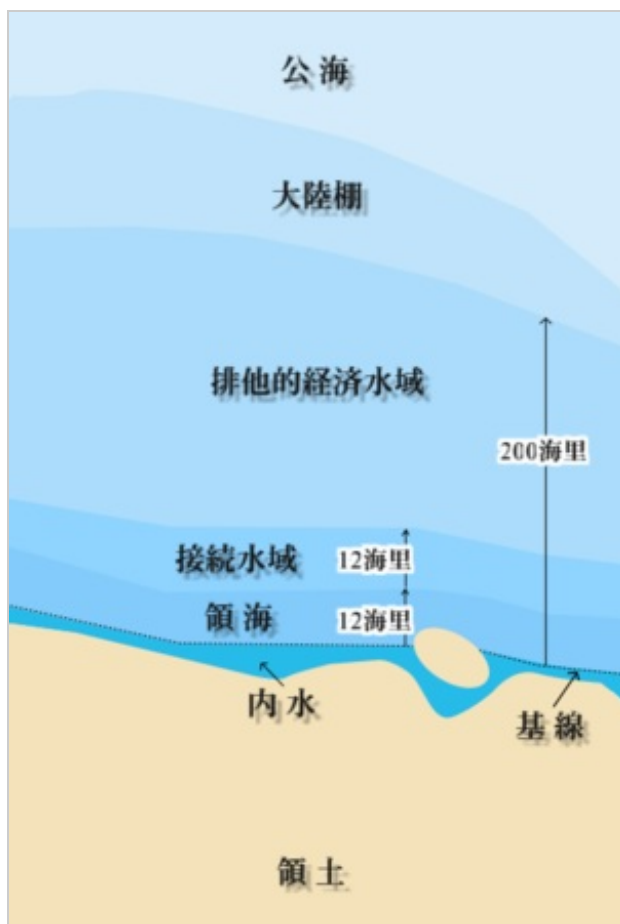
排他的経済水域

排他的経済水域（はいたてきけいざいすいき、exclusive economic zone;EEZ）とは、[国連海洋法条約](#)に基づいて設定される経済的な主権がおよぶ水域のことを指す。沿岸国は国連海洋法条約に基づいた国内法を制定することで自国の沿岸から200海里（約370km<1海里=1,852m>）の範囲内の水産資源および鉱物資源などの非生物資源の探査と開発に関する権利を得られる。その代わりに、資源の管理や海洋汚染防止の義務を負う。

日本では1977年に改正された領海法と漁業水域に関する暫定措置法が施行されたことにより設定された。



それぞれの水域を示す図（立体図）



それぞれの水域を示す図（平面図）



石油危機

オイルショック（和製英語：Oil shock、英語：Energy crisis, Oil crisis）は、1970年代に二度あった、原油の供給逼迫および価格高騰と、それに伴う経済混乱のことを指す。石油危機または石油ショックとも称される。英語圏では、禁輸措置に力点を置いて"oil embargo"と呼ばれることもある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9F%B3%E6%B2%B9%E5%8D%B1%E6%A9%9F>

貿易摩擦

貿易摩擦（ぼうえきまさつ）とは、特定国に対する輸出・輸入の極端な偏りから起きる問題のこと。貿易相手国との経常収支の不均衡が国内経済に悪影響を及ぼすと信じられ、両国間に摩擦が生じることをいう。広義には、投資摩擦を含めて論じられることもある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B2%BF%E6%98%93%E6%91%A9%E6%93%A6>

京浜工業地帯

京浜工業地帯（けいひんこうぎょうちたい）は、[大田区](#)、[川崎市](#)、[横浜市](#)を中心に、[東京都](#)、[神奈川県](#)、[埼玉県](#)に広がる工業地帯である。かつては名前の通り、東京から横浜までの東京湾西岸、京浜運河に広がる埋め立て工業地帯であったが、次第に範囲が東海道沿いの[藤沢市](#)・[茅ヶ崎市](#)・[平塚市](#)や、内陸の[八王子市](#)・[相模原市](#)・[さいたま市](#)（旧大宮市）にまで拡大していった。四大工業地帯のひとつで、太平洋ベルトの中核であり、日本有数の工業地帯である。

また、東京湾沿岸に[千葉県](#)へ伸び、[京葉工業地域](#)を形成、さいたまから[東北道](#)沿いに[北関東工業地域](#)を形成した。

[中京工業地帯](#)・[阪神工業地帯](#)・[北九州工業地帯](#)と比較した場合、事業所数・従業員数・付加価値額で見ると規模は1位であった。しかし、1999年、製造品出荷額の規模は中京工業地帯に次いで2位となった。2006年には製造品出荷額で30兆5099億円となり阪神工業地帯（31兆1028億円）に逆転され3位に転落した。現在の製造品出荷額は30兆8394億円である。（工業統計2007年）

- [東京都](#)・[神奈川県](#)

事業所数（従業員4人以上の事業所）は2万9504ヶ所、従業者数80万6973人、製造品出荷額は約30兆8394億円、付加価値額は約10兆6320億円。

- [東京23区](#)・[川崎市](#)・[横浜市](#)

事業所数（従業員4人以上の事業所）は約2万2千ヶ所、従業者数40万8856人、製造品出荷額は約13兆2272億円、付加価値額は約4兆8858億円。

（いずれも工業統計表、2004年 2006年 2007年発表）

巨大な消費市場と原料・製品の輸出入に便利な港湾（[東京港](#)・[川崎港](#)・[横浜港](#)）を有する。鉄鋼・機械・化学などの重化学工業、食品・繊維などの軽工業ともに発達しているが、重化学工業の割合が多く、印刷・出版や雑貨工業の発達が特徴的である。（日本最大の印刷工場が東京にある）また、中小規模の工場が多いことも特徴である。

京浜工業地帯は、阪神工業地帯より遅れて工業地帯となった。しかし、沿岸部のみならず、内陸にまで工業地帯を広げ、機械工業などの都市型工業を立地させ、発展してきた。

臨海部（[横浜市](#)、[川崎市](#)、[大田区](#)など）では鉄鋼業や化学工業、内陸部（[八王子市](#)、[立川市](#)など）では機械工業が発達している。

最近では工場・倉庫の跡地、埋め立てて使われていない土地などを利用して、[お台場](#)・[お台場海浜公園](#)、[みなとみらい](#)・[赤レンガパーク](#)など、観光施設に整備されている地域もある。

また[大田区羽田旭町](#)の大田区創業支援施設、[大田区南六郷](#)の大田区新産業創造支援施設、[大田区蒲田](#)の大田区産学連携施設、[横浜市金沢区](#)にある[横浜金沢ハイテクセンター](#)、[横浜新技術創造館](#)、[SOHO横浜](#)インキュベーションセンター、[かわさき新産業創造センター](#)、[かながわサイエンスパーク](#)等の、イノベーションによる新産業創出や、起業を期待されているインキュベート施設や、[横須賀リサーチパーク](#)や[かわさきマイコンシティ](#)等の、ハイテク企業を集積した産業クラスターもある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%AC%E6%B5%9C%E5%B7%A5%E6%A5%AD%E5%9C%B0%E5%B8%AF>

中京工業地帯

中京工業地帯（ちゅうきょうこうぎょうちたい）は、[愛知県](#)・[岐阜県](#)南部・[三重県](#)北部に広がる工業地帯である。[四大工業地帯](#)（最近では三大工業地帯という意見もある）のひとつ。[京浜工業地帯](#)、[阪神工業地帯](#)と比較した場合、従業者数あるいは製造品出荷額で見た規模は最も大きく、日本随一の工業集積地帯である。従業者数は100万6743人、製造品出荷額は42兆1963億円にのぼる。（工業統計表、2001年）

明治時代には製糸業、紡績業、繊維工業が盛んであった。第二次世界大戦中から鉄鋼業・機械工業が、戦後には石油化学工業が進出した。戦前は特に愛知航空機や三菱重工業、中島飛行機などの工場があり航空機生産が盛んで軍需産業の重要拠点であった。

名古屋港周辺の名古屋市、東海市の埋立地には製鉄所や石油化学コンビナートが建設されており、四日市市にもコンビナートが集積している。豊田市周辺や鈴鹿市では自動車工業が発達している。岐阜市や一宮市周辺には毛織物工業、大垣市は繊維工業、瀬戸市、常滑市、多治見市、土岐市、四日市市には伝統的な窯業が発達している。

中京工業地帯の代表的な都市には、名古屋市、豊田市、東海市、安城市、碧南市、刈谷市、一宮市、岐阜市、大垣市、各務原市、四日市市、鈴鹿市、津市などがある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E4%BA%AC%E5%B7%A5%E6%A5%AD%E5%9C%B0%E5%B8%AF>

阪神工業地帯

阪神工業地帯（はんしんこうぎょうちたい）は、[大阪府](#)・[兵庫県](#)を中心に広がる工業地帯である。[京浜工業地帯](#)、[中京工業地帯](#)と比較した場合、事業所数で見た規模は最も大きく、製造品出荷額で見た規模でも第2位である。事業所数（従業員4人以上）は3万4424ヶ所、製造品出荷額は33兆7461億円である。

（工業統計表、2007年）

[大阪湾岸](#)にはエネルギー・鉄鋼業・石油化学工業・機械工業が、[淀川](#)沿いには電気機械工業・食品工業が、ほか、[泉南](#)地域では繊維業が、[阪神](#)地域などでは醸造業が展開している。また内陸部では、医薬・化学・機械関連の研究所が多く展開する。主な都市と事業所は[主な事業所](#)、および、[主な研究所](#)を参照。

[大阪](#)などの商業資本と大消費市場、水運を中心とした交通、[淀川](#)による用水を背景として発達した。戦前は[京浜工業地帯](#)を上回る地位で、日本最大の工業地帯であったが、出荷額で[太平洋戦争](#)直前に京浜工業地帯に抜かれ、近年は[中京工業地帯](#)を下回っている。工場の立地が19世紀末からあったため、老朽化が目立つこと、戦時体制下の産業統制、企業統合を余儀なくされたこと、繊維などの軽産業のウエイトが高かったことが主因として挙げられる。

戦後になり、堺や尼崎の臨海部などに化学・金属工業が多数立地したが、[東京一極集中](#)の傾向もあいまって、昭和30年代後半に整備されだした[千葉県臨海部](#)などに主力工場を置く企業も多かった。結果、既に立地された阪神工業地帯の工場は、他地域に比べ老朽化、小規模が目立つようになっていた。近年は、化学・医薬・機械分野の新工場設立や増設、研究機能の集約が目立っている^[1]。

播磨地区は[工業整備特別地域](#)に指定されていた。また、近年、[関西文化学術研究都市](#)に工業関連の研究都市がつくられ、近畿の工業の発展において重要な役割を果たすことが期待されている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%98%AA%E7%A5%9E%E5%B7%A5%E6%A5%AD%E5%9C%B0%E5%B8%AF>

八幡製鉄所

八幡製鉄所（やはたせいてつしょ、やわたせいてつしょ）は、[福岡県北九州市](#)にある製鉄所（鉄鋼一貫製鉄所）である。現在は[新日本製鐵](#)（新日鉄）が運営する。

北九州市[戸畑区](#)飛幡町・中原にある「戸畑地区」と[八幡東区](#)前田・尾倉にある「八幡地区」に分かれているが、現在では主要な設備や総合センター（旧・本事務所）は戸畑地区側にある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%AB%E5%B9%A1%E8%A3%BD%E9%90%B5%E6%89%80>

循環型社会

循環型社会（じゅんかんがたしゃかい）とは、有限である資源を効率的に利用するとともに再生産を行って、持続可能な形で循環させながら利用していく社会のこと。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BE%AA%E7%92%B0%E5%9E%8B%E7%A4%BE%E4%BC%9A>

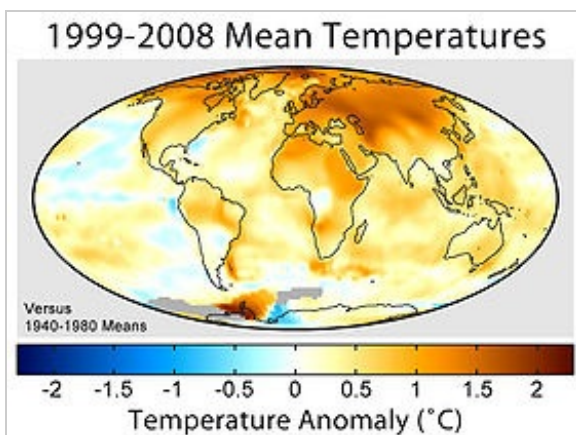
地球温暖化

地球温暖化（ちきゅうおんだんか）とは、地球表面の**大気**や**海洋の平均温度**が長期的に見て上昇する現象である。単に「温暖化」と言うこともある。（＝気候変動：広辞苑より）

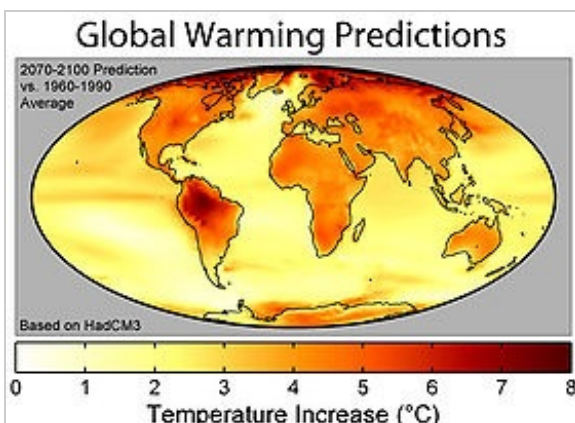
地球の歴史上では、**気候**が温暖になったり寒冷になったりということが幾度となく繰り返されてきたと考えられており、「温暖化」は単に地球全体の気候が温暖に変わる現象を指すこともある。しかし普通は、近年観測され将来的にも続くと予想される、「**20世紀後半からの温暖化**」について指すことが多い。過去の気候における温暖化であることを特に明記していなければ、「温暖化」という言葉は後者を指す。この記事では後者の温暖化について説明する。

大気や海洋の平均温度の上昇だけではなく、**生物圏内の生態系**の変化や**海面上昇**による**海岸線の浸食**といった、気温上昇に伴う二次的な諸**問題**まで含めて「地球温暖化問題」と言われることもある。現在、温暖化が将来の人類や環境へ与える悪影響を考慮して、さまざまな対策が立てられ、実行され始めている。一方で、その対策に要するコストが非常に大きくなるとみられることから、その負担や政策的な優先度等をめぐって国際的な議論が行われている。

地球の気候に関しては、時間的・空間的にさまざまなスケールで温暖化と寒冷化が起こってきた。この、「人為的・自然起源に関わらないすべての気候の時間的変動」を**気候変動**(climate change)という。後述の**IPCC**はこちらの意味を採用しているが、**UNFCCC**では「人為的なものに起因する気候の変動」という意味で用いられ、非人為的なものは気候変化 (climate variability) と呼んで区別している。「人為的・自然起源に関わらないすべての気候の時間的変動」を気候変化と呼ぶ向きもある。地球温暖化問題は「人為的なものに起因する気候の変動」という意味での「気候変動問題」と呼ばれることもある。



1940年–1980年の平均値に対する1995年から2004年の地表面の平均気温の変化



1960年–1990年の平均値に対する2070年から2100年の地表面の平均気温変化量の予測



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9C%B0%E7%90%83%E6%B8%A9%E6%9A%96%E5%8C%96>

酸性雨

酸性雨（さんせいう）とは、**環境問題**の一つとして問題視される現象で、**大気汚染**により降る**酸性**(厳密にはpH5.6以下)の**雨**のことを指す。酸性の**雪**は酸性雪（さんせいせつ）、酸性の**霧**は酸性霧（さんせいむ）と呼ばれる。

酸性雨の原因は**化石燃料**の**燃焼**や**火山活動**などにより発生する**硫黄酸化物**(SO_x)や**窒素酸化物**(NO_x)、**塩化水素**(HCl)などである。これらが**大気**中の水や**酸素**と反応することによって**硫酸**や**硝酸**、**塩酸**などの強酸が生じ、雨を通常よりも強い酸性にする。また、**アンモニア**は大気中の水と反応し塩基性となるため、酸性の雨といった定義からは外れるが、降雨により土壌に運ばれた後に**硝酸塩**へと変化することで広義の意味で酸性雨の一因とされる。大気中に放出されるアンモニアについては、人間の活動や**家畜糞尿**に起因するものが問題視されている。

なお、日本における原因物質の発生源としては、産業活動に伴うものだけでなく火山活動（**三宅島**、**桜島**）等も考えられている。また、東アジアから、**偏西風**に乗ってかなり広域に拡散・移動してくるものもあり、特に日本海側では観測される。

国立環境研究所の調査では日本で観測されるSO_xのうち49%が**中国**起源のものとされ、続いて日本21%、火山13%、朝鮮12%とされている。

西欧やアメリカ東部では、まず工場密集地の近隣で起きる煤煙やスモッグの被害が顕著に現れたことで、濃度を低くするため煙突を高層化して、排煙・排ガスを上空高くに拡散させる措置がとられた。これが酸性雨の拡大に拍車をかけたとの見方がある。



酸性雨による被害を受けた木々



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%85%B8%E6%80%A7%E9%9B%A8>

熱帯雨林の荒廃

20世紀に入って以降、熱帯雨林は伐採や農地開発による破壊（森林破壊）が進み、急速に減少・劣化してきている。その速度は、毎秒0.5 - 0.8ヘクタールにもおよび、かつて地表の14%を覆っていたとされる熱帯雨林が現在は6%まで減少し、このペースで減少が続けば40年で地球上から消滅するものと予測されている。それに伴って絶滅する生物種の数も、年間5万種にも上るとみられる。

森林破壊の原因は地域によって異なるが、世界資源研究所 (WRI) は、破壊の最大の脅威は木材や紙生産のために行なわれる商業伐採であり、鉱業開発、農地や牧草地への転換等がそれに続いていると報告している。また、森林が最終的に農地や牧草地、産業植林地などに転換される過程において、商業伐採がその最初の段階における役割を果たしているという意味でも、その影響は大きい。

国際連合食糧農業機関 (FAO) の統計によれば、熱帯雨林が広がる国・地域の森林率は減少傾向にある^[2]。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%86%B1%E5%B8%AF%E6%9E%97#.E7.86.B1.E5.B8.AFE9.9B.A8.E6.9E.97.E3.81.AE.E8.8D.92.E5.BB.83>

砂漠化

砂漠化（さばくか）とは、**植生**に覆われた**土地**が**不毛地**になっていく現象をいう。ここでいう**砂漠**は「**植物**の生育や**農業**に適さない土地」といった意味が強く、**乾燥**した地域を意味する**砂漠気候**の「砂漠」とは意味にずれがある。もっとも、植生を失った土地が**植物**の**蒸散**作用を失うことで結果として乾燥した気候に傾いた**メソポタミア**のような例もある。

乾燥帯の移動など**気候**の変化による**自然現象**としての砂漠化もあるが、今日問題となっている砂漠化の多くは人類の活動が原因となる人為的な行為によって引き起こされたものである。ひとたび砂漠化すると、気候が変化したり、**土壌**など地表の構造が崩れることから、植生の復活が困難になる例が多い。砂漠化した土地に緑の植生を取り戻す活動を、**緑化**という。



ナミビアのナミブ砂漠



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A0%82%E6%BC%A0%E5%8C%96>

オゾン層の破壊

オゾンはヒドロキシラジカル、一酸化窒素、塩素原子などの存在によって分解される。これらは成層圏で自然にも発生するものであり、オゾンの生成と分解のバランスが保たれてきた。

しかし冷蔵庫、クーラーなどの冷媒や、プリント基板の洗浄剤として使用されてきたフロンなどの塩素を含む化学物質が大気中に排出されたことで、成層圏で塩素原子が増加し、オゾン層の破壊が進んだ。フロンは非常に安定な物質であるため、ほとんど分解されないまま成層圏に達し、太陽からの紫外線によって分解され、オゾンを分解する働きを持つ塩素原子ができる。

成層圏における、塩素原子による触媒反応系はダイマー駆動機構（dimer-driven mechanism）と呼ばれ、その反応素過程は次のように示される。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AA%E3%82%BE%E3%83%B3%E5%B1%A4%E3.82.AA.E3.82.BE.E3.83.B3.E5.B1.A4.E3.81.AE.E7.A0.B4.E5.A3.8A>

京都議定書

京都議定書（きょうとぎていしょ、英: Kyoto Protocol）は、1997年12月に京都市の国立京都国際会館で開かれた第3回気候変動枠組条約締約国会議（地球温暖化防止京都会議、COP3）で同月11日に採択された、気候変動枠組条約に関する議定書である。正式名称は、気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書（英: Kyoto Protocol to the United Nations Framework Convention on Climate Change）。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%AC%E9%83%BD%E8%AD%B0%E5%AE%9A%E6%9B%B8>

キリスト教

キリスト教（キリストきょう、基督教、英語: Christianity）は、ナザレのイエスを救世主イエス・キリスト（メシア）と信じ、『旧約聖書』に加えて、イエスや使徒たちの言行を記した『新約聖書』を基準とし、隣人愛・愛（アガペー）を説く伝統的世界宗教である^[1]。世界における信者数は20億人を超えており、すべての宗教の中で最も多い^[2]。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AD%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%88%E6%95%99>

イスラム教

イスラム教（いすらむきょう）または**イスラーム**（稀にイスラーム教）とは、唯一絶対の神（アラビア語で**アッラーフ**）を信仰し、神が最後の**預言者**たる**ムハンマド**を通じて人々に下したとされる**クルアーン**（コーラン）の教えを信じ、従う**一神教**である。

ユダヤ教や**キリスト教**と同様に**アブラハムの宗教**の系譜に連なる**唯一神教**で、**偶像崇拝^[1]**を徹底的に排除し、神への奉仕を重んじ、信徒同士の相互扶助関係や一体感を重んじる点に大きな特色があるとされる。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%83%A0%E6%95%99>

仏教

仏教（ぶっきょう、Buddhism）は、インドの釈迦（ゴータマ・シッタッタ、あるいはガウタマ・シッタールタ）を開祖とする宗教である。キリスト教・イスラム教と並んで世界三大宗教のひとつ（信仰のある国の数を基準にした場合）で、一般に仏陀（目覚めた人）の説いた教え、また自ら仏陀に成るための教えであるとされる。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BB%8F%E6%95%99>

成田国際空港

成田国際空港（なりたこくさいくこう、英: Narita International Airport）は、千葉県成田市の南東部、三里塚地区にある国際空港。首都圏に発着する国際線や、主要都市への国内線航空便が発着する、空港法4条で法定されている空港で、航空法上の混雑空港である。

かつての正式名称は「新東京国際空港」であったが、2004年4月1日、成田国際空港株式会社法が施行され、空港を管理する新東京国際空港公団 (New Tokyo International Airport Authority, NAA) が日本政府による100%出資で設立された成田国際空港株式会社 (Narita International Airport Corporation, NAA) に改組し民営化（特殊会社化）されたことに伴い、現行の名称に改称された。記述の通り、英字略称は旧公団時代から現在に至るまで同じ「NAA」である。

日本国内では広く「成田空港」もしくは「成田」という呼び方が定着している。また、国際的な視点から見ると、日本の首都である東京の国際空港として機能しているため、千葉県内に空港が所在しながらも便宜上「東京成田」（英: Tokyo-Narita）あるいは単に「東京」とも言われることがあるが、東京国際空港（羽田空港）と区別するため前者が用いられることが多い。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%88%90%E7%94%B0%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E7%A9%BA%E6%B8%AF>

加工貿易

加工貿易（かこうぼうえき、added-profit trade）とは、**原材料**や**半製品**を他国から**輸入**し、それを加工してできた製品や半製品を**輸出**する**貿易**の形態である。**日本**や**イギリス**など、**鉱物資源**の乏しい国に多い。

加工貿易をより細分化して、他国より原材料や半製品を輸入して加工した上で輸出を行う「能動的加工貿易」、自国の原材料・半製品を外国に輸出して加工を行わせた上で再輸入する「受動的加工貿易」、「能動的加工貿易」の変形で自国では加工のみを行って、本来の輸出相手である第三国に再輸出する「通過的加工貿易」に分けることもある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8A%A0%E5%B7%A5%E8%B2%BF%E6%98%93>

ASEAN

東南アジア諸国連合（とうなんアジアしょこくれんごう、Association of South - East Asian Nations）は、東南アジア10ヶ国の経済・社会・政治・安全保障・文化での地域協力機構。略称は**ASEAN**（アセアン）。本部はインドネシアのジャカルタに所在。

域内の人口は約5億8000万人（2005年）と多く、近年の目覚ましい経済成長に抛り、欧州連合 (EU)、北米自由貿易協定 (NAFTA)、中国、インドと比肩する存在になりつつある。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ASEAN>

WTO

世界貿易機関（せかいぼうえききかん、英: World Trade Organization、略称**WTO**）は、自由貿易促進を主たる目的として創設された国際機関である。

常設事務局がスイスのジュネーヴに置かれている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/WTO>

太平洋ベルト

太平洋ベルト（たいへいようベルト）とは、日本の茨城県から福岡県・大分県までを結ぶ、一連の工業地帯・工業地域を言う。

国民所得倍増計画（1960年）策定のための経済審議会産業立地小委員会報告において、既存の四大工業地帯にボトルネックの弊害が発生していたことから、瀬戸内海沿岸、静岡県などこれらの中に新たな工業地帯を形成することにより、ベルト上の太平洋沿岸地域全体を工業立地の中核とするといういわゆる太平洋ベルト地帯構想が提唱されたことに由来する。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%AA%E5%B9%B3%E6%B4%8B%E3%83%99%E3%83%AB%E3%83%88>

本州四国連絡橋


本州四国連絡橋（ほんしゅうしこくれんらくきょう）は、**本州**と**四国**を橋などで結ぶ**道路**・**鉄道**ルートである。

本州四国連絡高速道路株式会社および独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（2005年9月30日までは**本州四国連絡橋公団**）が管理・運営し、以下の3ルートがある。


- 神戸・鳴門ルート（供用内容：神戸淡路鳴門自動車道）
- 児島・坂出ルート（通称：瀬戸大橋、供用内容：瀬戸中央自動車道・JR四国本四備讃線）
- 尾道・今治ルート（通称：瀬戸内しまなみ海道、供用内容：西瀬戸自動車道）

1999年5月1日の尾道・今治ルートの開通をもって3ルートがそろい、事業としてはほぼ完成している。



神戸・鳴門ルートの明石海峡大橋 



3ルートの概念図。西から尾道・今治ルート（赤）・児島・坂出ルート（緑）・神戸・鳴門ルート（黄） 

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%AC%E5%B7%9E%E5%9B%9B%E5%9B%BD%E9%80%A3%E7%B5%A1%E6%A9%8B>

環太平洋造山帯

環太平洋火山帯（かんたいへいようかざんたい）は、太平洋の周囲を取り巻く火山帯のことで、火山列島や火山群の総称。別名環太平洋造山帯（かんたいへいようぞうざんたい）とも言い、アルプス・ヒマラヤ造山帯とともに世界の2大造山帯ともされる。



環太平洋火山帯。青線は海溝。



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%92%B0%E5%A4%AA%E5%B9%B3%E6%B4%8B%E7%81%AB%E5%B1%B1%E5%B8%AF>

リアス式海岸

リアス式海岸（リアスしきかいがん、ria coast）は、**沈水海岸**の1つ。リアス海岸ともいう。太平洋に面した、三陸海岸の南部はせまい湾が複雑に入り込んだところのこと。

谷が**沈降**してできた**入り江**を、溺れ谷（おぼれだに、drowned valley）という。もともと**海岸線**に対して垂直方向に伸び、**河川**により**浸食**されてできた**開析谷**が溺れ谷になり、それが連続して**鋸**の歯のようにギザギザに連なっているような地形をリアス式海岸という。海岸線に対して平行な開析谷が沈水した場合は、**ダルマチア式海岸**と呼ばれる。海岸線に直角な隆伏の激しい地形が沈水するとリアス式海岸になり、さらに沈水が進むと**多島海**になる。元々、これらの沈水は谷の周辺の沈降によって起きたと考えられていたが、**気候変動**などの研究が進み、**最終氷期**が終わったことによる世界的な**海水面**の上昇によるものと考えられるようになった

リアス式海岸の鋸の歯のように複雑に入り組んだ入り江内は、**波**が低く水深が深いため、**港**として古くから使われた。溺れ谷に河川が流れ込み続けるなど、**汽水域**としての環境もあり、**沿岸漁業**や**養殖**などの**漁業**が中心として営まれる。

しかし、陸地は起伏が多く、急な傾斜の山地が海岸にまで迫ることもあり、平地が少ないため、陸路での移動は不便になりやすい。このため、長らく船以外に外部との交通手段がない「陸の孤島」となっていた所もある。

海岸線に対して垂直に開いているため、**津波**が襲来した場合、湾口に較べて奥の方が狭くなっている入り江では、波高が通常よりも高くなって被害が大きくなる。そのため、津波を防ぐための高い**防潮堤**を設けるなどの対策が取られている。また、湾内では一度押し寄せた津波が反射波となり対岸同士を繰り返して襲い、津波の永続時間が長いことも知られている。



舞鶴湾のリアス式海岸



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%82%B9%E5%BC%8F%E6%B5%B7%E5%B2%B8>

季節風

ある地域で、一定の方角への風が特によく吹く傾向があるとき、その風を**卓越風**と呼ぶが、季節によって風の吹く方角（卓越風向）が変化するものをモンスーン (monsoon) と呼ぶ。アラビア語の**季節**（モウスイム、الموسم、Mawsim）に由来する用語である。

これは、**アラビア海**で毎年**6月**から**9月**にかけて南西の風が、**10月**から**5月**にかけて北東の季節風が吹き、沿岸諸国の海上貿易、交通に大きな影響を与えていたことによる。もともとは毎年同じ時期に行われる行事のことを意味していたが、アラビア海で時期によって向きが変わる風のことを指す語となり、その後、**季節風**を意味する気象用語として広まった。アフリカの**サブサハラ**や南米などでは雨季の嵐や大雨を、インドや東南アジアでは雨季そのものを意味する語としても使用されている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AD%A3%E7%AF%80%E9%A2%A8>

過疎化

過疎（かそ）とは、**村落**、**離島**などにおいて、**人口**が急激且つ大幅に減少したため、地域社会の機能が低下し、住民が一定の**生活水準**を維持することが困難になった状態をいう。

単に**人口**（密度）が極度に少ない（低い）状態をいう場合もあるが、後述するようにこれは正しい使い方ではない。対義語は**過密**。

人口が減少して過疎の状態になりつつある状態、或いは過疎が更に進行する状態を**過疎化**（かそか）という。過疎化が進行し、地域社会（**コミュニティ**）としての機能を失った集落を**限界集落**と呼ぶこともある。これは、大野晃が、「過疎化」では集落の深刻な現状を表現するのに不十分であると考え、考案した用語である。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%81%8E%E7%96%8E%E5%8C%96>